

宇佐神宮から山国川へ

司馬遼太郎がゆく 豊の街道

作家「司馬遼太郎」さんの著書「街道をゆく」をもとに大分に残る日本人のルーツを探します。

当番組は、司馬遼太郎さんが訪れた中津・宇佐の道を通して
パワースポットとして知られる「宇佐神宮」や
耕作地帯として栄えた中津平野の歴史を巡る旅です。

豊臣期に黒田官兵衛（後の如水）が中津に移封されたのも
山国川があったからこそです。

官兵衛は、山国川の河口に中津城と城下町をつくります。
山国川は、耶馬溪などを潤し20余りの支流を集めつつ
中津平野に入るために時には氾濫したのです。

12世紀ごろ堰が設けられ中津平野が穀倉の地になります。
当時の武士は、いわば農場経営者であり彼らの課題は、
農地を充実させ多くの人を養い新田を増やすことでした。



出演：片岡 鶴太郎（東京都荒川区出身）
1954年12月21日
俳優、お笑いタレント、歌手、画家、
元プロボクサー。
NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」では
官兵衛を悩ませる主君・小寺政職
（こでら まさもと）役で出演。

江藤産業株式会社 協賛

トークイベント『片岡鶴太郎が語る 黒田官兵衛と豊の街道』

イベント日時：2015年1月10日（土）13：30開場 14：00開始

イベント会場：コンパルホール（文化ホール）大分市

500名招待（ペア250組） ※入場無料※

イベント主催：大分朝日放送（株） 協力／太田プロ

イベント内容：片岡鶴太郎さんトークイベントと「豊の軌道 時空の旅」の放送

トーク内容：大河ドラマ「軍師官兵衛」の裏話

「豊の軌道 時空の旅」（2014年1月放送）

「司馬遼太郎が行く豊の街道（仮）」の撮影裏話



OAB 大分朝日放送